

総選挙にむけての緊急アピール

先の通常国会における政治改革関連法案の廃案は、政治改革を求める国民の期待を裏切り、政治不信を増大させ、日本政治の国際的な信用を著しくおとしめた。

今回の総選挙は廃案にともなう内閣不信任案可決一衆議院解散を受けて、新しい日本を創造するための出発点となるもので、日本の政治を改革する道を選択するか、現状に安住することを選ぶかが国民の一人ひとりに問われることになる。

この認識のもと、われわれは政治改革の推進を求める立場から、第40回衆議院議員選挙の公示にむけて、すべての有権者に対し次の三点を緊急にアピールする。

1 国民は棄権せず、投票によって改革の意思表示を

日本政治の再生は有権者の行使する一票にかかっている。わたしたち有権者は、今回の総選挙が戦後政治を転換する歴史的な選挙となること、総選挙の結果いかんによって日本の将来と政治改革の成否が大きく左右されることを強く認識しなければならない。投票を棄権することは、結果として現状維持をもたらすことになる。わたしたち有権者がこぞって一票を投じ、改革を求める国民の確固たる意思を内外に示そうではないか。

2 国民は党派を問わず本当の改革派に投票を

わたしたち有権者は、候補者のこれまでの言動や実績を踏まえ、誰が自己犠牲をいとわず政治改革を本当に推進してきたか、誰が改革に後向きの姿勢をとり続けてきたかを、冷静に見きわめねばならない。そして党派を問わず、日本の政治を変革するための一票を投じよう。

3 候補者はカネをかけない選挙の実行を

今回の総選挙に立候補するすべての候補者は、政治改革について発言するからには、カネをかけない選挙を国民に約束すべきである。また有権者は、それぞれの選挙区で各候補者の選挙運動を厳しく監視するとともに、わたしたち有権者自身も襟をただし、買収、供応などの不正・不法行為を一掃しよう。

平成5年7月2日

政治改革推進協議会（民間政治臨調）